

平和と民主主義を守り、地方自治の発展と、市民の幸福と生活向上のため、惜しみない御努力を重ねている貴議会に敬意を表します。

日本と歴史的にも、文化的にも、最も深い関係にある朝鮮は外部勢力により、国土と民族が両断されて三十余年、いまだに統一が実現されず、南北において軍事的対立と緊張が続いており、核戦争の不安の中で、朝鮮人民は苦痛にみちた不幸な生活を強いられております。

今日、南北朝鮮人民は分断された祖国を一刻も早く統一させるため民族的総力をかたむけております。

周知のように、世界の広範な人々は朝鮮の統一問題を民族の自主性と自決を守る運動として、積極的な支持と声援を寄せているばかりでなく、日本国民からも絶大なる御支援をいただいております。

つきましては貴議会が以上の諸事情を考察され、朝鮮人民の自主的平和統一を実現するために絶大なる御支援を寄せてくださり、次のことを決議し、日本政府当局に要請することを陳情するものであります。

記

- 一、朝鮮での核戦争の危険を除去すること。
- 二、「二つの朝鮮」の固定化に反対すること。
- 三、朝鮮停戦協定を平和協定にかえるよう当事者に訴えること。
- 四、朝鮮の自主的平和統一の早期実現のために努力すること。

以上

昭和五十三年九月八日

陳情者

福生市本町九八

在日本朝鮮人総連合会

三多摩西部支部

分会長 鄭

清 正 印

福生市議会議長

岩 田 博 殿

請願第二号

一般消費税の新設反対に関する請願書

紹介議員

松山

清



税制調査会が審議している一般消費税（付加価値税）は、商品やサービスなど、およそ生活に必要なすべてのものにかかる税金ですから、国民は新設によつて、いま以上の重税と物価高に苦しむことは明らかです。とりわけ、高額所得者より低所得者の方が税金負担率の高い、逆累進制を持つた最悪の税金です。

さらに、中小業者にとつては、「記帳」の義務、「申告実務」の煩雑さを強いられ、また、増税分が価格吸収できない場合は背負い込みとなるものです。

すでに、付加価値税については、労働者、農民、中小業者、婦人、消費者が強く反対しており、七四国会をはじめ五百十六もの地方議会が反対の決議を政府に送つて昭和四十六年以來阻止してきました。

今度、政府は一般消費税導入の理由を「財政危機の克服」とか「社会福祉の財源」などと述べていますが、これらは、大企業、大資本家の特権的減免税の廃止、軍事費など不用不急な予算の削減によつて可能です。

ところが、税制調査会は昨年末の答申では、大企業、大資本家本位の不公平税制の是正には手をつけずに、政府の一般消費税の具体案の提示をもとめ、なおかつ、導入をもくろんでいます。これは広範な世論と国会や地方議会の決議を踏みにじるものです。

以上の理由から、議会においても一般消費税新設反対の意見書を国に提出するよう請願します。

昭和五十三年九月九日

請願者代表

福生市牛浜九一

税制民主化西多摩協議会

西村理三郎 印

他二百十五名

福生市議会議長

岩田博殿

陳情第七号

熊川幸樂園下の坂名称に関する陳情書

近代的都市建設と市民生活の向上を目的として、日夜御活躍くださる市議会議員各位に
対し、心から感謝申し上げる次第です。

さて、熊川幸楽園下の坂、市道二二一号は、二年数カ月の間、ガケくずれのため、通行
止となつていましたが、このたび、格別の御配慮を賜り、近代的な坂と生まれかわりまし
た。

昔から、別に坂名もなく、だれ呼ぶとなく、幸楽園の坂、幸楽園下坂と呼ばれたまま現
在に至りましたが、将来子供たちに残す坂名としては不適当と考えまして、町内関係者と
協議をした結果、ほたる公園の近くでもあり、「ほたる坂」という名称にしてはとの意見
がまとまりました。

つきましては、議員各位の御明察によりまして、右名称に、御決定くださるよう陳情い
たします。

昭和五十三年九月十一日

陳情者

福生市熊川九〇五

熊牛町会長

田 中 勇 印

福生市熊川一〇〇五

小 林 暢 吉 印

福生市南田園三ノ一三ノ六

田 中 達 治 印

福生市議会議長

岩 田 博 殿

請願第三号

国鉄貨物取扱い駅廃止反対に関する請願書

紹介議員

関

米

吉

印

国鉄当局は、本年十月二日から実施するダイヤ改正の内容をすでに発表いたしました。このダイヤ改正は、貨物列車を主体におき、貨物輸送量の減少を理由にして、貨物列車のダイヤカット・ヤードの統廃合など一連の貨物合理化計画を包含したものであります。

このため、全国的に貨物駅を二百七十六駅も廃止し、国鉄労働者を約一万人も削減するという大合理化計画となつています。これは単に国鉄労働者の問題だけではなく、関連する通運労働者の職場と生活を奪うとともに、地方産業を支えている中小荷主や地域住民が、国鉄貨物をますます利用しにくくする輸送体系の再編であることはまちがいありません。

53・10ダイヤ改正を皮切りに54・10から55・10ダイヤ改正によつて、この貨物合理化計画を完成させようとしています。

こうした貨物大合理化計画の中に、八王子駅の貨物取扱設備を拡充し、五十四年十月には立川を初め拝島・河辺・洲野辺駅の貨物取扱いを八王子駅に集約するという計画がすでに明らかにされています。

三多摩と神奈川南部地域は、人口が急激に膨張し、大都市に発展しています。それだけに地方産業や地域住民の貨物利用度はますます増大し、減ることはありません。

このような状況の中で計画が推進されますと、

一、地方産業を支えている中小荷主が切り捨てられ、大企業本位の貨物輸送構造になります。

二、立川駅など四駅を廃止することによつて通運業者の広域配達が更に拡大され、必然的にサービス低下・料金加算が行われ、中小荷主の負担増となります。

三、国鉄貨物からトラック業者へ転嫁されることによつて、道路の交通渋滞・排気ガスなど自動車公害をまきちらすことになります。

四、国鉄労働者と関連する通運労働者が職場から切り捨てられ、雇用不安を増大させます。以上のような理由で、私たちは国鉄貨物の大合理化計画に反対し、地域住民の便益と国鉄のもつ公共性を確立するためには、地方産業の育成と地域住民の足を確保する施策こそが、いま必要となつています。

私たちは、国鉄当局に対して、「自治体・荷主及び荷主関係団体」の意向を充分尊重することを労使の団体交渉で約束させています。このような立場から、当面の運動の中心を54・10ダイヤ改正による立川駅を初めとする四駅の貨物取扱い廃止計画を国鉄当局に全面

的な撤回又は地域住民の利益を守るための施策の変更を求めて、全力をあげて運動を展開しているところであります。

貴議会におかれましても、関係する貨物駅の取扱い廃止によつて必然的に地域住民に不便をまねく、国鉄当局の貨物合理化計画に反対の意志表示をおこない、従来からの貨物取扱駅を存置し、国鉄を利用できますように、次の事項について、国鉄当局に対し積極的な要請を図られるよう請願する次第であります。

請 願 事 項

立川・拝島・河辺・刈野辺駅の貨物取扱い廃止、八王子駅への統合に反対します。

昭和五十三年九月十二日

請 願 者

立川市曙町二一五

国民の交通を確立する三多摩会議

議長 石 野 昇 印

三多摩交通運輸労働組合協議会

議長 長谷部 通 夫 印

三多摩交通貨物共闘会議

議長 桑 田 桂 造 印

福生市議会議長

岩 田 博 殿

①

福生市議案第十七百二号

昭和五十三年九月十三日

福生市長 石川常太郎 印

福生市議会議長

岩田博殿

議案の訂正について

昭和五十三年第三回福生市議会定例会に提案された議案について、次のとおり訂正したいのぶよろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

一 議案第九十七号 財産の取得について

訂正箇所	誤	正
議案第九十七号中	仮称福生市中央図書館	仮称中央図書館

昭和五十七年九月二十六日 福生市議会 第三回臨時会 議事録

議事録

昭和五十七年九月二十六日 福生市議会 第三回臨時会 議事録

第三回福生市議会 定

例

会会議録(第十二号)

昭和五十七年 九月二十六日福生市議会議場に第三回福生市議会定例会が開催された。
出席議員は次のとおりである。

一番	原 敏子 君	二番	松 山 清 君
三番	原 田 生也 君	四番	村 野 武男 君
五番	森 田 治男 君	六番	村 尾 栄次 君
七番	鈴 木 藤次郎 君	八番	山 崎 良之助 君
九番	竹 田 政 勝 君	十番	指 田 保 雄 君
十一番	宇佐美 良時 君	十二番	貫 井 喜代次 君
十三番	君	十四番	田 村 市 郎 君
十五番	小 林 菊三 君	十六番	小 堀 仁 七 君
十七番	関 米 吉 君	十八番	東 田 正 治 君

第三定
(第三日)

議八十六
議九十一
議九十二
議九十三
反討討論
賛成討論
議九十四
議九十五
議九十六
議九十七
議九十八
議九十九
議一百